

水のゆくえ

ねらい 地図の地形から分かる水の流れから実際の水の利用まで総合的に知ること、実際の動線としての水の動きを把握する。

時間 1日
人数 何人でも
場所 どこでも
季節 いつでも
用具 地図・色鉛筆・筆記用具

手順

1. 地図上で地形を読みましよう（分水嶺・川・谷・山・平地）。
2. 現地調査として、源水の起点・全景・水源・川・井堰・用水路などを、凡例に従い地図（下書き用）に書き込み、写真も撮ります。（凡例：山の傾き・尾根・雑木林・上下水道・自然神）
3. 凡例を頼りに、地域の人を取材します。（昔の水の使い方などを聞き、昔の知恵や技、暮らしと自然の変化を明白にしていましよう。）
4. 清書用の地図にこれまでの地図やコメント、反例ごとの色塗りをして仕上げます。
5. 地元の人意見を聞くために皆さんに集まってもらうのも良いかもしれません。

ポイント

地元のひととの触れ合いも大切にしましよう。

